

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
14時29分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00637	感染症予防事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	20	快適な生活環境の確保		
予算事業	10486	01	04	01
02	01	01	01	01
01	感染症予防事業（感染症予防費）			
所属長	林 泰史		担当者（内線）三枝（2622）	
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
事業開始年度	不明	直近の改正	平成20年度	
改正内容	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく、消毒業務を委託化			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	大阪府知事から指示された感染症の発生場所及び二次感染の恐れがある場所		
目標	感染症の拡大予防		
結果	公衆衛生の確保		
事業概要	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく法定受託事務であり、大阪府知事から指示された感染症の発生場所及び二次感染の恐れがある場所を消毒します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	増三産業株式会社
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	消毒作業
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	207	0	207	0	207
人件費職員数(人)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	0	806	0	795
総事業費(A+B)	1,024	0	1,013	0	1,002
特定財源(C)	136	0	137	0	137
国	0	0	0	0	0
府	136	0	137	0	137
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	888	0	876	0	865
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	888	0	876	0	865
財源計(C+D)	1,024	0	1,013	0	1,002

所属	地域環境課
事務事業番号	00637

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	法定受託事務で大阪府知事から指示された感染症の発生場所及び二次感染の恐れがある場所の消毒	目標	消毒業務に精通した業者に委託することで、感染症のまん延の防止
成果内容	感染症の拡大予防	達成状況	近年発生事例無し

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 感染症の発生予防を踏まえると最低限度の事業費であるため適切です。</p> <p>【今後の方向性】 本事業の実績はないため分析は困難であるが、法定受託事務であるため継続すべきです。</p>		

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	感染症予防事業	事業区分	その他
事務事業番号	00637				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進によって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00637
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症発生時に大阪府からの指示により発生現場の消毒を実施する法定受託事務であり、市が関与すべき事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
17時07分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00638	狂犬病予防事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	20	快適な生活環境の確保							
予算事業	10494	01	04	01	05	01	01	01	狂犬病予防事業（狂犬病予防費）
所属長	林 泰史				担当者（内線）萩原（2622）				
根拠法令等	狂犬病予防法								
事業開始年度	昭和25年度	直近の改正	平成12年度						
改正内容	狂犬病予防法に基づく飼犬登録及び狂犬病予防注射済票交付事務が、都道府県知事から市町村長の事務になりました。								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	生後91日以上の子犬を飼っている市民等		
目標	狂犬病の予防		
結果	健康で快適な生活環境の確保		
事業概要	狂犬病予防法に基づく飼犬登録業務及び狂犬病予防注射済票交付業務を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	吹田市開業獣医師会
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	くすのき動物病院
		委託先③	動物病院ファミリー
		主な委託内容	登録・済票交付業務及びその手数料徴収業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,544	3,351	3,899	3,698	4,142
人件費職員数(人)	0.60	0.40	0.72	0.72	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	3,160	5,798	5,798	6,356
総事業費(A+B)	8,446	6,511	9,697	9,496	10,498
特定財源(C)	3,544	6,511	9,628	9,496	10,498
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	3,544	6,511	9,628	9,496	10,498
市負担(D)	4,902	0	69	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,902	0	69	0	0
財源計(C+D)	8,446	6,511	9,697	9,496	10,498

所属	地域環境課
事務事業番号	00638

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	新規飼犬登録件数	件	目標値	1,150.00	2,309.00	2,472.00
			実績値	2,472.00	2,335.00	
			達成度(%)	215.00	101.10	
目標値の積算方法	過去実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.63	4.07	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	狂犬病予防注射済票交付件数	件	目標値	9,350.00	10,417.00	10,502.00
			実績値	10,502.00	10,343.00	
			達成度(%)	112.30	99.30	
目標値の積算方法	過去実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.62	0.92	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は手数料で充当されており、適切です。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、おおむね目標とする効果がでており、事業費も適正であるため継続すべきです。 中核市移行に伴い、新たに大阪府から移譲を受ける予定である狂犬病予防法関連業務や動物愛護関連業務と一体的かつ効率的な行政サービスを提供するにあたり、当該が担当するか否かも含めて検討してまいります。</p>

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	狂犬病予防事業	事業区分	その他
事務事業番号	00638				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	18	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00638
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(3)効率性 他に類時事業がなく、連携を図ることは困難ですが、業務委託先を拡充するなど事務改善に取り組むことで事業の効率化に寄与していると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
14時40分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00639	衛生害虫等駆除事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	20	快適な生活環境の確保		
予算事業	10495	01	04	01
06	01	01	01	01
01	衛生害虫等駆除事業（環境衛生費）			
所属長	林 泰史		担当者（内線）三枝（2622）	
根拠法令等	感染症及び感染症患者に対する医療に関する法律			
事業開始年度	不明	直近の改正		平成20年
改正内容	そ族、衛生害虫、不快害虫、危険害虫及び蜂等の駆除を委託化			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	衛生害虫、不快害虫、危険害虫、そ族及び蜂		
目標	衛生害虫等の発生抑制及び駆除		
結果	環境衛生の充実		
事業概要	市内の市有公共施設等で発生するハエ、蚊、ゴキブリ等の衛生害虫、ユスリカ等の不快害虫、毒毛虫やセアカゴケグモ等の危険害虫、ねずみ族等の駆除及び蜂の巣の除去を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	増三産業株式会社
		委託先②	ホームサービス株式会社
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	害虫駆除
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	11,500	9,518	10,848	9,884	10,446
人件費職員数(人)	0.60	0.50	0.45	0.45	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	3,950	3,624	3,624	4,767
総事業費(A+B)	16,402	13,468	14,472	13,508	15,213
特定財源(C)	1	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0
市負担(D)	16,401	13,468	14,472	13,508	15,213
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,401	13,468	14,472	13,508	15,213
財源計(C+D)	16,402	13,468	14,472	13,508	15,213

所属	地域環境課
事務事業番号	00639

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	害虫駆除作業日数	件	目標値	162.00	154.00	152.00
			実績値	241.00	248.00	
			達成度(%)	148.80	161.00	
目標値の積算方法	予算による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	55.88	54.47	
			一般財源(千円)	55.88	54.47	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	害虫駆除件数	件	目標値	227.50	158.00	148.00
			実績値	158.00	148.00	
			達成度(%)	69.50	93.70	
目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	85.24	91.27	
			一般財源(千円)	85.24	91.27	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は他市状況を踏まえると、概ね適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はありません。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきです。ただし、今後市民からの問合せに伴う害虫駆除件数が減少するようであれば、事業費の見直しが必要です。</p>

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	衛生害虫等駆除事業	事業区分	その他
事務事業番号	00639				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00639
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 環境衛生の充実を図るために市が関与すべき事業であり、公共施設における蜂の巣除去、毛虫等の駆除、河川等におけるユスリカ等への発生抑制及び駆除を専門の事業者へ委託して行っています。 市民からの害虫に係る相談件数が例年通りあることから、本事業の実施意義はあるものと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
14時16分13秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00640	市有墓地管理事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	20	快適な生活環境の確保		
予算事業	10496	01	04	01
所属長	林 泰史	06	02	01
根拠法令等	吹田市市有墓地条例、同施行規則			
事業開始年度	昭和36年	直近の改正	平成27年	
改正内容	使用許可証発行手数料の改正			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市有墓地		
目標	適正な維持管理を行います。		
結果	墓地施設の適正な運営により公衆衛生を確保します。		
事業概要	市有墓地の使用許可等墓籍管理・墓地光熱水費の負担・墓地除草剪定・修繕整備等を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	株式会社春光園
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	株式会社中野造園吹田支店
		委託先③	レリーフシミス株式会社
		主な委託内容	除草・剪定業務ほか
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,795	4,741	2,096	1,946	2,040
人件費職員数(人)	0.60	0.70	0.45	0.45	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	5,530	3,624	3,624	3,973
総事業費(A+B)	10,697	10,271	5,720	5,570	6,013
特定財源(C)	3	1	3	2	3
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	3	1	3	2	3
市負担(D)	10,694	10,270	5,717	5,568	6,010
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,694	10,270	5,717	5,568	6,010
財源計(C+D)	10,697	10,271	5,720	5,570	6,013

所属	地域環境課
事務事業番号	00640

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	周辺の生活環境と調和を図りながら、墓地の除草や樹木の剪定作業、水道設備等の維持管理業務を行います。	目標	墓地という特性上、高い公益性と管理の持続性が求められます。
成果内容	墓地の適正管理による公衆衛生を確保できています。	達成状況	維持管理にかかわるコストは必要最小限であり、十分な効果を得ています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切です。墓地にお参りに来られる市民等に支障がないよう定期的に除草、樹木の剪定を行うなど、周辺の生活環境と調和するよう配慮して墓地の維持管理を行う必要があります。また、軍人墓地に関しては、隣接する私有地内へ木が伸びており、毎年の剪定が必要となっています。</p> <p>【指標数値の評価】 適正管理を目標としており、数値化するのは困難です。</p> <p>【今後の方向性】 墓地の承継手続きは、代替わりしていくと年々困難になるため、使用者の確認を積極的に行うなど、引き続き墓地を適正管理し、公衆衛生を確保します。</p>		

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	市有基地管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00640				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組みなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組んでいない。(1点)	1点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	74	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00640
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市町村により墓地の規模等も違うため、事業費を比較・分析することは困難です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 市が管理する墓地であり、墓参者の支障にならないよう墓地設備の補修や墓地の共有部分の除草、剪定等を行うなどの墓地の維持管理を実施する必要があります。また、墓地の区画の使用承継申請や埋蔵届、使用者の住所等の変更届等を受け付け、墓地区画の管理を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
12時57分12秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00641	空地管理事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	20	快適な生活環境の確保							
予算事業	10497	01	04	01	06	03	01	01	空地管理事業（環境衛生費）
所属長	林 泰史			担当者（内線）吉村 武則（2624）					
根拠法令等	吹田市環境の保全等に関する条例								
事業開始年度	昭和49年度	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	空地の所有者、占有者、管理者		
目標	民間空地内の雑草、廃棄物等により、近隣住民の生活環境に支障を及ぼさない状態にする		
結果	快適な生活環境の確保		
事業概要	空地が良好に管理されないことにより近隣住民の生活環境に著しい支障を及ぼしている場合に、空地の所有者等に対して雑草の除去等必要な措置・対応を指導します。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5	1	5	2	5
人件費職員数(人)	0.50	0.30	0.25	0.25	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	2,370	2,013	2,013	2,384
総事業費(A+B)	4,090	2,371	2,018	2,015	2,389
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,090	2,371	2,018	2,015	2,389
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,090	2,371	2,018	2,015	2,389
財源計(C+D)	4,090	2,371	2,018	2,015	2,389

所属	地域環境課
事務事業番号	00641

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	空地管理に関する苦情等申出件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	89.00	106.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	26.64	19.01	
			一般財源(千円)	26.64	19.01	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	個々の状況に応じた改善措置の基準が無く、成果について客観的に判断することができません。
	達成状況
	ほとんどの申出に対し、土地所有者等を特定し、適正管理指導を行っています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	市内にある空地について、所有者等に除草等の管理指導を行うことによって、周辺生活環境の維持向上が図られています。

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	空地管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	000641				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	000641
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>空地の周辺住民からの通報や苦情を受け、所有者等に空地内の雑草の除去等必要な措置を講ずるよう指導を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
17時17分35秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00642	飼い猫等避妊・去勢手術補助事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	20	快適な生活環境の確保							
予算事業	10498	01	04	01	06	04	01	01	飼い猫等避妊・去勢手術補助事業（環境衛生費）
所属長	林 泰史				担当者（内線）宮川（2619）				
根拠法令等	吹田市飼い猫等避妊・去勢手術補助金交付要綱								
事業開始年度	平成8年度	直近の改正			平成28年度				
改正内容	補助金の額を飼い猫等1匹につき5,000円から飼い猫1匹につき2,500円、野良猫1匹につき5,000円に変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	手術可能な猫の飼い主等		
目標	猫の避妊・去勢手術費用の削減を図り、市民に飼い猫等の避妊・去勢手術の実施を促します。		
結果	適正に飼養されていない猫の繁殖防止や、野良猫等の増加を抑制することにより、生活環境の維持・向上を図ります。		
事業概要	市民に飼い猫等の避妊・去勢手術を促すため、手術経費補助として飼い猫1匹につき2,500円、野良猫1匹につき5,000円（一世帯につき2匹まで）を交付します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
		交付先①	交付決定を受け、手術を実施した市民
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,000	998	1,000	1,000	1,000
人件費職員数(人)	0.50	0.30	0.30	0.30	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	2,370	2,416	2,416	3,178
総事業費(A+B)	5,085	3,368	3,416	3,416	4,178
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,085	3,368	3,416	3,416	4,178
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,085	3,368	3,416	3,416	4,178
財源計(C+D)	5,085	3,368	3,416	3,416	4,178

所属	地域環境課
事務事業番号	00642

2頁
平成30年 7月 3日
17時17分35秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	補助交付決定件数	件	目標値	200.00	217.00	220.00
			実績値	217.00	229.00	
			達成度(%)	108.50	105.50	
目標値の積算方法	各年度当初見込み件数(交付決定後、体調不良等により手術を受けられず、補助金交付取消する場合があります。)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.52	14.92	
			一般財源(千円)	15.52	14.92	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
補助金を交付することで、野良猫等の繁殖防止につながり、生活環境が向上します。	達成状況 当該補助制度によって毎年約200匹の猫の避妊・去勢手術をしていることから、野良猫等の増加を抑制しています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切です。(理由:より多くの猫の繁殖抑制に資するよう平成28年度から飼養者責任のある飼い猫の避妊・去勢手術補助額を5,000円から2,500円に変更したためです。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきです。 中核市移行に伴い、新たに大阪府から移譲を受ける予定である動物愛護業務とともに一体的かつ効率的な行政サービスを提供するにあたり、当課で継続するか否かも含めて検討してまいります。</p>

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	飼い猫等避妊・去勢手術補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00642				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

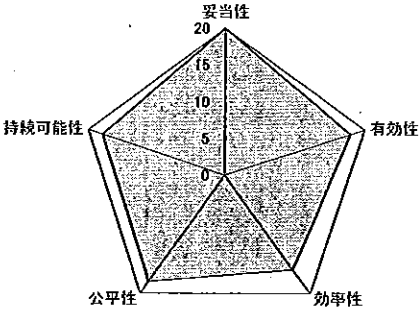
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00642
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 平成28年度から飼い猫には飼養者責任があるため避妊去勢手術補助額を5,000円から2,500円に変更したことで、補助交付決定件数が目標を上回っていることから、野良猫等の繁殖防止による生活環境の向上に寄与しており、本事業の実施意義はあるものと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1 頁
平成30年 6月 8日
14時21分02秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00643	市営葬儀に関する事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	20	快適な生活環境の確保							
予算事業	10501	01	04	01	08	01	01	01	市営葬儀に関する事業（市営葬儀費）
所属長	林 泰史			担当者（内線）宮川（2619）					
根拠法令等	吹田市営葬儀条例								
事業開始年度	昭和32年度	直近の改正		平成29年度					
改正内容	市営葬儀の廃止およびやすらぎ苑の設置条例化								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市において葬儀を行う者（故人または申請者が市民である場合に限る）		
目標	規格及び料金を設定し、指定葬儀業者に祭壇等の飾付及び式事の執行等を委託することにより、簡素にして低廉・厳粛な葬儀を行います。		
結果	簡素にして低廉・厳粛な市民のための葬儀を実施します。		
事業概要	<p>吹田市営葬儀条例において定められた葬儀を実施する事業です。 市営葬儀のうち、遺体の取扱い、葬祭用品等の供給、祭壇等の飾付及び式事の執行を指定葬儀業者に委託しています。 平成29年7月、手続きの簡略化による利便性の向上のため、吹田市営葬儀から吹田市規格葬儀に移行したことから、市営葬儀に関する事業を廃止し、規格葬儀事業を開始します。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	指定葬儀業者6社
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	市営葬儀
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	27,806	26,149	6,625	6,622	0
人件費職員数(人)	0.50	0.70	0.10	0.10	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	5,530	806	806	0
総事業費(A+B)	31,891	31,679	7,431	7,428	0
特定財源(C)	27,706	25,943	6,622	6,621	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	27,706	25,943	6,622	6,621	0
市負担(D)	4,185	5,736	809	807	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,185	5,736	809	807	0
財源計(C+D)	31,891	31,679	7,431	7,428	0

所属	地域環境課
事務事業番号	00643

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市営葬儀指定業者数	社	目標値	7.00	6.00	0.00
			実績値	7.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	市営葬儀指定業者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,525.57	1,238.00	
			一般財源(千円)	819.43	134.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市営葬儀利用者数	件	目標値	182.00	40.00	0.00
			実績値	191.00	49.00	
			達成度(%)	104.90	122.50	
目標値の積算方法	各年度当初見込み件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	165.86	151.59	
			一般財源(千円)	30.03	16.47	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【今後の方向性】 市が実施する葬儀として、市民の安心感とともに低廉な葬儀が実施されていますが、手続きの簡略化による利便性の向上のため、平成29年7月から吹田市規格葬儀へ移行し、市営葬儀は廃止となりました。</p>

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	市営葬儀に関する事業	事業区分	その他
事務事業番号	00643				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団休(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00643
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 本市の市営葬儀は、市への使用許可申請や葬儀を実施する指定葬儀業者への委託料の支払いといった手続きがあり、市の関与のあり方を検討した結果、平成29年7月から手続きの簡略化による利便性の向上を図る規格葬儀へ移行し、市営葬儀は廃止します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月20日
14時27分53秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00646	中高層建築物に係る指導・紛争調整事務事業			
章	05	環境を守り育てるまちづくり			
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり			
細節	20	快適な生活環境の確保			
予算事業	10519	01	04	01 12 02 01 01	中高層建築物に係る指導・紛争調整事務事業（環境保全費）
所属長	林 泰史		担当者（内線）吉村 武則（2624）		
根拠法令等	吹田市中高層建築物の建築に係る紛争の調整に関する条例、中高層建築物の日照障害等の指導要領				
事業開始年度	昭和53年度	直近の改正	平成22年度		
改正内容	「中高層建築物の日照障害等の指導要綱」から「中高層建築物の日照障害等の指導要領」に改正				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	高さ10mを超える建築物の建築に伴う紛争		
目標	中高層建築物の建築に係る紛争の調整を図り、良好な近隣関係・生活環境を保全する。		
結果	快適な生活環境の確保		
事業概要	中高層建築物の建築に係る建築主と関係住民との紛争を未然に防止し、また、紛争が生じたとき、申し出に応じてあっせん及び調停を行います。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	206	0	206	0	104
人件費職員数(人)	1.00	0.00	0.65	0.00	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	0	5,234	0	5,562
総事業費(A+B)	8,376	0	5,440	0	5,666
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,376	0	5,440	0	5,666
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,376	0	5,440	0	5,666
財源計(C+D)	8,376	0	5,440	0	5,666

所属	地域環境課
事務事業番号	00646

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示するのが困難な場合

活動内容	10mを超える建築物の住民説明報告を受け、周辺住民との紛争防止に努めるとともに、紛争が生じたときは、あっせん及び調停の調整業務を行います。	目標	紛争が生じる前に、事業者に対し周辺住民への調整を誠意を持って行うことを指導し、紛争の未然防止に努めます。
成果内容	紛争に対し可能な限り双方の妥協点を見つけ、合意形成を図ります。	達成状況	事業者と住民という違う立場のため100%の納得とはならないが、最終的には誠意と妥協となっています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	中高層建築物の建築に伴う日照の確保、電波障害、プライバシー等の問題について、関係者の相互理解により解決できるよう、事業者指導、住民相談や両者間の調整を行うことにより、良好な近隣関係の保持を図っています。

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	中高層建築物に係る指導・紛争調整事業事務	事業区分	その他
事務事業番号	000646				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	000646
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高度経済成長期の公的建築物の建替えや民間建築物の更新など中高層建築物の建設が進んでいます。これに伴う手続き(事前協議、近隣説明等)も多くなっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
18時51分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00647	旅館営業規制事務事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	20	快適な生活環境の確保							
予算事業	10520	01	04	01	12	02	02	01	旅館営業規制事務事業（環境保全費）
所属長	林 泰史				担当者（内線）吉村 武則（2624）				
根拠法令等	吹田市旅館営業に対する規制に関する条例								
事業開始年度	昭和46年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	旅館営業を営もうとする者		
目標	旅館営業者に対して必要な規制を加えることにより、善良な風俗を維持する		
結果	快適な生活環境の確保		
事業概要	市内において、旅館営業を行おうとする者又は行っている者等が、旅館営業を目的とした建造物を建築しようとするとき、既存の建造物を用いて旅館営業を行うとき等に対して市長の同意決定にあたり、吹田市旅館営業審議会に諮問し、答申を得て決定します。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	69	34	69	34	137
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	5,562
総事業費(A+B)	1,703	1,614	1,680	1,645	5,699
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,703	1,614	1,680	1,645	5,699
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,703	1,614	1,680	1,645	5,699
財源計(C+D)	1,703	1,614	1,680	1,645	5,699

所属	地域環境課
事務事業番号	00647

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	旅館営業の申請に対する市長の同意決定にあたり、旅館営業審議会に諮問します。	目標	旅館営業審議会の適正な判断を適切に進めます。
成果内容	旅館営業者に対して、必要な規制を加えることで善良な風俗を維持します。	達成状況	年1~2件の申請であるが、適切に処理ができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【今後の方向性】 本事業を継続することで善良な風俗を害する旅館営業に規制をかけることができ、良好な生活環境が保全されています。 中核市移行に伴い、大阪府から旅館営業許可業務が移譲される予定であるため、本事業についての在り方を再検討してまいります。

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	旅館営業規制事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	000647				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	地域環境課	事務事業番号	000647
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>旅館営業を行おうとする者に対して義務付けている市長同意を決定するにあたり、吹田市旅館営業審議会に諮問し、同意、不同意の決定、又は同意条件の答申を得て決定することによって、善良な風俗を害する旅館営業に規制をかけることができます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
11時04分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00648	アライグマ等危険動物捕獲事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	20	快適な生活環境の確保							
予算事業	10527	01	04	01	12	04	01	01	アライグマ等危険動物捕獲事業（環境保全費）
所属長	林 泰史				担当者（内線）三枝（2622）				
根拠法令等	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律								
事業開始年度	平成21年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他			
対象	アライグマ等の危険動物			
目標	捕獲及び処分			
結果	良好な生活環境の確保			
事業概要	発見されたアライグマ等危険動物の捕獲及び処分を行っています。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	増三産業株式会社	
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	アライグマ等危険動物捕獲にかかる搬送業務	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	132	70	137	272	174
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	1,766	1,650	1,748	1,883	1,763
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,766	1,650	1,748	1,883	1,763
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,766	1,650	1,748	1,883	1,763
財源計(C+D)	1,766	1,650	1,748	1,883	1,763

所属	地域環境課
事務事業番号	00648

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	アライグマ捕獲器設置延べ日数	日	目標値	0.00	1,093.00	1,396.00
			実績値	1,093.00	1,396.00	
			達成度(%)	0.00	127.70	
目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.51	1.35	
			一般財源(千円)	1.51	1.35	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	アライグマ捕獲数	件	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	5.00	30.00	
			達成度(%)	50.00	300.00	
目標値の積算方法	各年度予算による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	330.00	62.77	
			一般財源(千円)	330.00	62.77	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	今回から新たな活動指標を設定
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費については他市状況を踏まえると概ね適切であるが、平成29年度はアライグマ捕獲数が多かったため、予算流用を実施しています。捕獲数の増加傾向が続くようであれば、事業費の再検討も必要と思われます。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると事業成果は現状で妥当であり改善の余地はありません。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため継続すべきです。なお、現在アライグマ等は大阪府管轄の施設にて安楽死措置をしていますが、平成31年度以降は市町村で安楽死措置を担うことになるため、委託等事務事業の見直しが必要です。</p>

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	アライグマ等危険動物捕獲事業	事業区分	その他
事務事業番号	00648				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00648
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 市民の良好な生活環境を確保するために市が関与すべき事業であり、アライグマ等危険動物の捕獲及び処分を一部専門の事業者へ委託して行っています。市民からのアライグマの目撃情報は引き続き寄せられ、捕獲件数も増加傾向にあることから、本事業の実施意義はあり、更なる予算措置が必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

現在、第3期大阪府アライグマ防除実施計画に基づいて捕獲を行っており、捕獲したアライグマは大阪府管轄の施設にて安楽死措置を行っていますが、平成31年度以降は措置体制の変更が予定されています。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
11時26分31秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00649	看板撤去関係事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	20	快適な生活環境の確保		
予算事業	10529	01	04	01 12 05 02 01
所属長	林 泰史 担当者(内線)井手上(2623)			
根拠法令等	屋外広告物法、大阪府屋外広告物条例、吹田市環境美化に関する条例等			
事業開始年度	平成11年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部(上乘せ、横出し等あり) ○ なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり) 市内の個人や団体ボランティアと連携して、違法な簡易広告物の撤去を定期的に行います。			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	地域の環境		
目標	屋外広告物の掲出や表示の適正化等を推進します。		
結果	清潔できれいなまちが生まれ、市民の生活環境の向上につながります。		
事業概要	屋外広告物の適正な掲出の指導、啓発事業、違法屋外広告物の撤去通告等を実施します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社NANBU
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	看板ごみ処分業務
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	200	190	183	169	183
人件費職員数(人)	0.60	0.50	0.50	0.50	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	3,950	4,026	4,026	3,178
総事業費(A+B)	5,102	4,140	4,209	4,195	3,361
特定財源(C)	200	200	200	200	200
国	0	0	0	0	0
府	200	200	200	200	200
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,902	3,940	4,009	3,995	3,161
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,902	3,940	4,009	3,995	3,161
財源計(C+D)	5,102	4,140	4,209	4,195	3,361

所属	地域環境課
事務事業番号	00649

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	違法屋外広告物撤去活動回数	回	目標値	253.00	218.00	256.00
			実績値	218.00	256.00	
			達成度(%)	86.20	117.40	
目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	18.99	16.39	
			一般財源(千円)	18.07	15.61	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	違法屋外広告物の撤去数	枚	目標値	211.00	110.00	187.00
			実績値	110.00	187.00	
			達成度(%)	52.10	170.00	
目標値の積算方法	過去実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	37.64	22.43	
			一般財源(千円)	35.82	21.36	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切です。(理由: 事業費については、他市状況を踏まえるとおおむね適切です)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地があります。 今後、事業成果の目標を達成するためには、指導方法の在り方について検討していく必要があります。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標等の分析を踏まえると、過去と比べ撤去数が減少しており、事業費も適正であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当であります。</p>

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	看板撤去関係事業	事業区分	
事務事業番号	00649				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00649
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 違法屋外広告物の簡易除却事務について府より事務を移譲されており、市が関与すべき事業です。また、市民から違法屋外広告物に関する相談も受けていることから、本事業の実施意義はあるものと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
14時57分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00650	環境美化啓発事業			
章	05	環境を守り育てるまちづくり			
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり			
細節	20	快適な生活環境の確保			
予算事業	10530	01	04	01 12 05 02 02	環境美化啓発事業（環境保全費）
所属長	林 泰史		担当者（内線）井手上（2623）		
根拠法令等	吹田市環境美化に関する条例				
事業開始年度	平成11年度	直近の改正	平成26年度		
改正内容	吹田市内全域の道路等の公共の場所における歩行喫煙の禁止、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区等で勧告に従わない条例違反者へ2,000円の過料徴収、環境美化推進員制度の創設等。				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	地域の環境		
目標	喫煙マナーの適正化及びごみのポイ捨てを防止します。		
結果	清潔できれいなまちがつけられ、市民の生活環境の向上に資することができます。		
事業概要	吹田市内の道路等での歩きタバコやごみのポイ捨て禁止など環境美化の推進を市民・事業者で組織する環境美化推進員等と一緒に行うことで、清潔できれいなまちづくりを推進します。 また、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区を指定し、喫煙ルールの適正化等を周知啓発することで更なる環境美化の推進を図ります。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社コート大阪支店
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	路上喫煙禁止標示シートや標示看板等の設置
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,447	6,069	7,078	2,724	7,006
人件費職員数(人)	1.00	0.90	0.70	0.70	0.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,110	5,637	5,637	7,151
総事業費(A+B)	15,617	13,179	12,715	8,361	14,157
特定財源(C)	0	6,784	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	6,784	0	0	0
市負担(D)	15,617	6,395	12,715	8,361	14,157
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	15,617	6,395	12,715	8,361	14,157
財源計(C+D)	15,617	13,179	12,715	8,361	14,157

所屬	地域環境課
事務事業番号	00650

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	環境美化指導員の活動回数	回	目標値	118.00	90.00	130.00
			実績値	90.00	130.00	
			達成度(%)	76.30	144.40	
目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	146.43	64.32	
			一般財源(千円)	71.06	64.32	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	環境美化キャンペーンにおける啓発箇所数	箇所	目標値	25.00	27.00	27.00
			実績値	25.00	27.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	527.16	309.67	
			一般財源(千円)	255.80	309.67	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	環境美化指導員による指導件数	件	目標値	79.00	47.00	47.00
			実績値	47.00	52.00	
			達成度(%)	59.50	110.60	
目標値の積算方法	過去実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	280.40	160.79	
			一般財源(千円)	136.06	160.79	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切です。(理由: 他市と地区指定1箇所あたりの事業費で比較すると、妥当であると考えられるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると事業成果は概ね妥当だが、改善の余地があります。今後、事業成果の目標を達成するためには、違反行為者が減少するよう活動手段や方法を改善する必要があります。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、概ね目標とする効果が出ており、事業費も適正であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当であります。</p>

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	環境美化啓発事業	事業区分	
事務事業番号	00650				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	20	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	84	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00650
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 市民より、路上での歩きたばこ、路上喫煙禁止地区における喫煙の目撃情報が多く寄せられています。また、吹田市の環境美化に関する条例より、吹田市の環境美化の目的を達成するうえでも、今後も活動を継続していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時03分41秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00651	環境美化清掃委託事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	20	快適な生活環境の確保		
予算事業	10531	01	04	01
所属長	林 泰史	12	05	02
根拠法令等	吹田市環境美化に関する条例			
事業開始年度	平成17年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	地域の環境		
目標	喫煙マナーの適正化及びごみのポイ捨てを防止します。		
結果	清潔できれいなまちがつくられ、市民の生活環境の向上につながります。		
事業概要	環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区に指定している地下鉄江坂駅・阪急北千里駅・関大前駅周辺のたばこの吸い殻等のポイ捨て及びその他の散乱ごみの清掃、除草等を行うとともに、ポイ捨て防止のための啓発を行っています。 また、上記地区内（江坂公園、豊津公園、阪急南千里駅、JR吹田駅北口、JR岸辺駅南口）に設置する喫煙所及びその周辺の清掃を実施しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(特非) 吹田・江坂ビジョン21
		委託先②	(公社) 吹田市シルバー人材センター
		委託先③	(特非) すいた東部コンシェルジュ
	主な委託内容		駅周辺の清掃活動や環境美化の啓発活動等
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,568	3,143	3,464	3,323	3,876
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	5,202	4,723	5,075	4,934	5,465
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,202	4,723	5,075	4,934	5,465
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,202	4,723	5,075	4,934	5,465
財源計(C+D)	5,202	4,723	5,075	4,934	5,465

所属	地域環境課
事務事業番号	00651

2頁
平成30年 6月 8日
15時03分41秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	委託事業での美化清掃時間、ポイ捨て防止啓発時間及び喫煙所清掃時間	時間	目標値	2,619.50	2,920.00	3,090.00
			実績値	2,920.00	3,090.00	
			達成度(%)	111.50	105.80	
目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.62	1.60	
			一般財源(千円)	1.62	1.60	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	駅周辺での清掃活動や環境美化の啓発活動等の実施により、喫煙マナーの適正化及びごみのポイ捨て防止を図る。
	達成状況
	定期的に駅周辺で歩行喫煙率調査を実施しており、喫煙率は減少傾向にある。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は他市状況を踏まえると、概ね適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はありません。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標を設定することは困難であるものの、駅周辺の喫煙マナーの適正化及びごみのポイ捨て防止に寄与しているため、事業を継続することが妥当であります。なお、事業費は増加傾向にあるため、今後実施方法の検討が必要です。</p>

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	環境美化清掃委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00651				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	00651
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 市民の生活環境の向上のために市が関与すべき事業であり、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の清掃や、同地区内に設置する喫煙所清掃を実施することにより、ポイ捨ての防止や喫煙マナーの適正化を図っています。定期的を実施している歩行喫煙率調査も減少傾向にあるため、本事業の実施意義はあるものと考えます。</p> <p>(5)持続可能性 環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定に伴い、事業費、市負担ともに増大する傾向にあるので、今後実施方法の検討など事務改善を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価調査

事務事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度		改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり) <input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	26							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他											
	範囲等	火葬場及び火葬場に勤務する職員												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、業務上必要な物資を備蓄します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)													
(7) 事業概要	平成27年11月に策定された吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、具体的な行動を進めるための、業務上必要な物資を備蓄します。													
(8) H29事業別 予算コード	会計		款		項		目		大事業		中事業		小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)		平成30年度 (2018年度)							
			予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		264	192	0	0	130							
	人件費	職員数	0.10	0.10	0.00	0.00	0.10							
		総額(B)	818	790	0	0	795							
	総事業費(A+B)		1,082	982	0	0	925							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		1,082	982	0	0	925						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,082	982	0	0	925								
財源計(C+D)		1,082	982	0	0	925								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
		主な委託内容	②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0	
(3) が困難な場合	①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	②	成果内容	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切です。平成27年11月に策定された吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、緊急時においても火葬場を稼働させるため、業務上必要な物資を備蓄する必要があります。なお、平成29年度は前年度分の備蓄があり、新たに物資を確保する必要がなかったため、予算は計上していません。</p> <p>【今後の方向性】 今後も緊急時に対応できるよう、必要な物資を確保する必要があります。</p>					

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01669				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		点	
		内部管理			
		②サービスの水準は適正ですか。			
		内部管理		点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		内部管理		点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		点	
		内部管理			
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
評価点合計 (100点満点)	87	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	地域環境課	事務事業番号	01669
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 緊急時においても火葬場の運営ができる体制作りを進めるために、火葬場の経営者として市が関与すべき事業です。吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、計画的に必要な物資を購入し、備蓄を進めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
14時41分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020100	地域環境課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01753	規格葬儀事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	20	快適な生活環境の確保		
予算事業	11823	01	04	01
所属長	林 泰史	19	01	01
根拠法令等	吹田市規格葬儀に関する要領		担当者（内線）宮川（2619）	
事業開始年度	平成29年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	要領制定			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市において葬儀を行う者（故人または申請者が市民である場合に限る）		
目標	市が市民のために定める規格や料金に従い、指定葬儀業者が利用者との契約に基づいて祭壇等の飾付及び式事の執行等を行います。		
結果	簡素にして低廉・厳粛な市民のための葬儀の実施が図られます。		
事業概要	市が市民のための簡素にして低廉・厳粛な葬儀の規格を基に、吹田市指定葬儀業者が規格葬儀を実施します。 平成29年7月、手続きの簡略化による利便性の向上のため、吹田市営葬儀から吹田市規格葬儀に移行したことから、市営葬儀に関する事業を廃止し、規格葬儀事業を開始します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	市が定めた規格や料金に従い、指定葬儀業者が利用者との契約に基づき葬儀を実施します。	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	120	61	31
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.38	0.38	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	3,060	3,060	2,384
総事業費(A+B)	0	0	3,180	3,121	2,415
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	3,180	3,121	2,415
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	3,180	3,121	2,415
財源計(C+D)	0	0	3,180	3,121	2,415

所属	地域環境課
事務事業番号	01753

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	規格葬儀指定業者数	社	目標値	0.00	6.00	5.00
			実績値	0.00	6.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	規格葬儀指定業者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	520.17	
			一般財源(千円)	0.00	520.17	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	規格葬儀利用件数	件	目標値	0.00	200.00	360.00
			実績値	0.00	281.00	
			達成度(%)	0.00	140.50	
目標値の積算方法	各年度当初見込み件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	11.11	
			一般財源(千円)	0.00	11.11	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切です。(理由:市は簡素にして低廉・厳粛な葬儀の規格や料金を定めるだけで、実際の葬儀は指定葬儀業者が行うためです。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきです。</p>

事務事業分析シート

2018/6/815:46

所属名	地域環境課	事業名	規格葬儀事業	事業区分	その他
事務事業番号	01753				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		⑤活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20		
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	地域環境課	事務事業番号	01753
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 市民のための簡素にして低廉・厳格な葬儀の実施を図るために市が関与すべき事業であり、高齢化の進行や葬儀に対する考えの変化に対応すべく新たな葬儀規格も定めたことから、本事業の実施意義はあるものと考えます。</p> <p>(2)有効性 平成29年7月に吹田市営葬儀から規格葬儀事業に移行し、月々の利用件数が前年同月の市営葬儀件数を上回っていることから、制度移行が有効であったと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価調査

事務事業名	やすらぎ苑事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成30年度	改正内容			
(2) 直近の改正					
(3) 根拠法令等	吹田市立やすらぎ苑条例、墓地、埋葬等に関する法律				
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり) <input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明				
(5) 総合計画の体系	章	05 環境を守り育てるまちづくり	節		
			01		
			細節		
			20		
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	<input checked="" type="checkbox"/> 吹田市立やすらぎ苑 <input checked="" type="checkbox"/> 埋火葬または改葬の許可を受けたもの <input checked="" type="checkbox"/> 死亡した犬や猫及び医療に伴う排出物		
	結果 (どのような効果が得られるのか)		<input checked="" type="checkbox"/> 施設の適正な維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民の宗教的感情に適合し、かつ公衆衛生その他公共の福祉に資する <input checked="" type="checkbox"/> 腐敗による衛生状態の悪化を防ぐため焼却処分する		
(7) 事業概要	吹田市立やすらぎ苑の施設管理業務と火葬に係る業務を行います。また、事業課より搬入される死亡した犬や猫等及び医療に伴う排出物を焼却します。平成30年4月からの指定管理者制度移行に伴い、やすらぎ苑施設管理事業と火葬事業が統合され、新たにやすらぎ苑事業となりました。				
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款		
			04		
			項		
			01		
			目		
			09		
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		103,589	100,109	110,667
	人件費	職員数	1.50	1.50	1.30
		人			2.05
	総額(B)		12,255	11,850	10,329
	総事業費(A+B)		115,844	111,959	120,996
	特定財源(C)		52,437	38,808	56,531
	(内訳)	国	0	0	0
		府	0	0	0
		その他	52,437	38,808	56,531
	市負担(D)		63,407	73,151	64,465
	(内訳)	地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	63,407	73,151	64,465
	財源計(C+D)		115,844	111,959	120,996
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施				
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 太陽薬炉工業株式会社 <input checked="" type="checkbox"/> 株式会社ビケンテクノ <input checked="" type="checkbox"/> 株式会社中野造園吹田支店		
		主な委託内容	火葬業務、清掃業務、樹木管理業務		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③		
		内容			
		<input type="checkbox"/> その他			

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	火葬件数	目標値	(単位:件)	3,197.00	3,197.00	/
			実績値	(単位:件)	3,130.00	3,241.00	
			達成度(%)		97.9	101.4	
	目標値の積算方法	各年度当初見込み件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	35.77	38.99	
				一般財源(単位:千円)	23.37	26.59	
			達成度(%)				
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
		達成度(%)					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
			達成度(%)				
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
		達成度(%)					
(3) が困難な場合	①	活動内容	遺体(胎)の適正な火葬	目標	適正な火葬		
	②	成果内容	適正な施設管理及び火葬執行の維持	達成状況	問題なく施設管理を行っており、火葬においても、特に苦情もなく適正な火葬業務を執行しています。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>【事業費等の評価】 事業費削減及び財源確保に向けた取り組みとして、民間のノウハウを活かした一体的な管理運営により事業費の削減を図ることができるところから、平成30年4月より吹田市立やすらぎ苑の管理運営は指定管理者制度へ移行しました。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ているものの事業費が高いため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当であると考えます。 なお、平成30年4月から効率的な管理運営による事業費の削減と市民サービスの向上を図るため、指定管理者制度へ移行しました。</p>				

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	やすらぎ苑事業	事業区分	その他
事務事業番号	01815				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	78	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	01815
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(3)効率性 火葬事業は業務委託し、やすらぎ苑施設管理事業は一部を直営、その他を各業務ごとに業務委託しており、事業の効率化が課題であると考えられることから、平成30年4月より民間のノウハウを活用した一体的で効率的な管理運営による事業費の削減と市民サービスの向上を図るため、指定管理者制度へ移行しました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)